



善隣友好



●講演会



2024年2月25日(日)、韓国旅行の楽しみ方を知る目的で講演会を開催しました。

講師は中岡みずえさん。会場の「キナルなんぶ」に、40人が出席しました。

講師紹介 中岡みずえさん

山陰地方を拠点にタレント活動や、ラジオパーソナリティとして活躍中。
趣味は韓国旅行。米子-ソウル便を利用して訪韓回数は60回以上。

講演テーマ「私が見てきた韓国」



中岡みずえさんの「私が見てきた韓国」を聞いて

中岡みずえさんは韓国ドラマが好きで、1990年の最初の渡韓から今まで60回以上韓国に行かれたそうです。最初の渡韓では空港で写真を撮ったら捕まるという噂があったり、四つ角には兵士が立っていたり、日本統治時代の朝鮮総督府の建物がまだ残っていたそうで、それを皮切りに韓国ドラマのロケ地巡りをされる様になったそうです。韓国で何度も行ってみたい場所はソウルを囲むネササン・ナクサン・ナムサン・イヌアンサンをつなぐ城壁とのことでした。みずえさんの熱量で韓国をもっと知りたいと思いました。

記 澤下 由里

●ハンリム大学学生OBとの交流



ボーリングで交流



南部中学校見学 体育授業

●よなご国際交流フェスティバル

10月1日(日)、米子市文化ホールで開催。鳥取県西部の国際交流を行う22団体が参加。南部町国際交流協会は「善隣友好」の拡大展示をしました。



●研修旅行

12月10日(日)、研修旅行を行い10人が参加しました。訪問先は鳥取県中部地区日韓親善協会。倉吉市が1993年に姉妹都市協定を締結した韓国・羅州市と30年以上様々な分野で相互交流をしています。国際交流は行政単位でなく民間交流が大切と確認しました。



ホームステイ事業のその先へ

平成28年度ホームステイ事業で南部町を訪れた白永彬(ベク・ヨンビン)さんが、韓国釜山の中高一2名の海外研修の引率として、令和6年1月18日南部町を再訪問してくださいました。当日は、南部中学校の学校見学や、南部町の高校生や青年団員とボーリング交流を行いました。ホームステイ事業により南部町とつながりをもった学生が、その先のつながりを仕掛けてくれています。草の根交流の成果が、また一つ芽を出しました。

記 大下 真史

南部町国際交流協会
会長 塚田 勝美

は、南部町国際交流協会は、平成6年に設立され、今年で30年を迎えることから、今年度も韓国や米国での研修旅行や、外国語スピーチ発表などの事業を通して、本町の国際化に貢献していきます。今年度も、市民のみなさんに、国際交流の魅力を伝えるため、研修旅行の引率として、白永彬(ベク・ヨンビン)さんが、韓国釜山の中高一2名の海外研修の引率として、令和6年1月18日南部町を再訪問してくださいました。当日は、南部中学校の学校見学や、南部町の高校生や青年団員とボーリング交流を行いました。ホームステイ事業により南部町とつながりをもった学生が、その先のつながりを仕掛けてくれています。草の根交流の成果が、また一つ芽を出しました。

会長あいさつ

俳句と川柳で交流しました

韓国・ハンリム大学日本学科に五七五の句を今年度もお願いしたら、学生たちから投句がありました。南部町国際交流協会の会員も投句し交流をしました。テーマは「日韓交流」。

ハンリム大学 5人

友達と 喧嘩しながら 育つこと
 櫻の木 春に限らず 日々みたい
 それぞれの 色彩がある わたしたち
 昔から ただ違いがある 兄弟
 ケイポップと 日本のアニメは 世界一
 青い空 白い雪降る 懐かしい
 月のない 暗闇の中 道しるべ

キム・ジミン 日本学科3年生
 イ・ギウク 日本学科3年生
 チョン・ボウン 日本学科3年生
 チョン・ボウン 日本学科3年生
 ソ・ヘヨン 日本学科2年生
 イム・シヨン 日本学科3年生
 イム・シヨン 日本学科3年生

南部町国際交流協会 5人

指を折り 句帳片手に 異国の地
 言語さえ 超えて繋がる 人與人
 震災の映像 帰韓惜別の宴中
 ホームステイ 出逢える喜び 別れの寂しさ
 韓国へ 想いよ届け 桜と共に
 想い馳せ 心配御無用 SNS

会員 田淵千里
 会員 大下真史
 会員 岡田久男
 会員 岡田久男
 事務局 堀越絵廉
 会員 田村 誠

ハンリム大学日本学科と交流を始めて28年

韓国江原道春川市に日本学科のある大学があると、旧西伯町に来ていた韓国人国際交流員の話がきっかけで、1996年2月に第1回目のホームステイ事業を計画し、ハンリム大学日本学科の学生23人が来町し、民家23軒で10日間ホームステイをして町民と交流をしました。それ以降毎年交流を続け、コロナ禍で中止した2019年7月までに、218人の大学生が来町し105軒の民家でホームステイをして交流をしています。「お父さん、お母さん」と親しく呼んで、今も変わらない交流を続けている家族が沢山おられます。

記 野口隆資



第1回、韓国・ハンリム大学ホームステイ事業
 1996年2月5日～2月15日

編集後記

今年度は、研修旅行や講演会を開催し、国際交流フェスティバルにも参加しました。又昨年一昨年と好評だった韓国・ハンリム大学日本学科と、俳句と川柳の交流もしました。国際交流は人と人心と心のふれあいです。今年度も、韓国の友との交流がありました。南部町国際交流協会は、善隣友好を大切に小さな草の根交流を続けます。会員募集中です。

南部町国際交流協会
 事務局長 野口 隆資

南部町国際交流協会役員

役職	氏名
会長	塚田 勝美
副会長	早田 秀子
副会長	岡田 久男
事務局長	野口 隆資
理事	山口 幸子
理事	板井 令子
理事	田淵 千里
理事	澤下 由里
理事	大下 真史
理事	生田 智子
理事	青藤 忠明
顧問	生田 俊作

※善隣友好…「隣の国など身近なところと仲よくし友情を深める」